

令和2年8月18日（火）に日置市吹上浜公園体育館にて「『運動好きな子どもを育てる』指導者研修会」を開催し、体育授業の指導法や運動習慣の育成について研修しました。

- 1 対象者
鹿児島地区の小学校の教諭等
- 2 講義
「『運動好きな子どもを育てる』ための方策について」
県教育庁保健体育課 学校体育安全係 指導主事

- 3 実技1・2
指導者 総合体育センター
佐伯体育研修主事
ア アイスブレーキング
イ 体ほぐしの運動（遊び）
ウ 体づくり運動
（感染症対策を講じた運動プログラム）



実技「のぼしてコロコロ」

- 4 研究協議
 - テーマ「体育授業の充実と運動習慣の育成に向けた取組について」
 - ア 体育授業の充実について
 - ・「めあての設定」と「確実なまとめ」 ・指導内容 ・指導計画
 - ・一単位時間の指導過程 ・場の設定 ・学習資料 ・言語活動
 - ・個に応じた指導 ・学習評価 等
 - イ 運動習慣の育成について
 - ・休み時間 ・集会活動 ・体育的行事 ・家庭や地域との連携 等
- 5 受講者感想

○ 新型コロナウイルス感染症でいろいろと制限がかかる中、子どもたちが「面白そう」「やってみたい」と思えるようにするための授業づくりの工夫の仕方について学ぶことができた。習得につながる場の設定や学習活動の可視化など、授業に積極的に取り入れていきたい。また、講義の内容を職員で共有し、学校全体で運動に取り組めるようにしていきたい。

○ 「のぼしてコロコロ」「パプリカ」の曲に合わせたダンス、投の運動など新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、運動量を確保し、子どもが楽しく取り組めるプログラムを体験することができ、実践意欲が高まった。特にタオルボールを作って行う運動は家でも手軽に取り組める活動なので、家庭との連携の手立ての一つとし活用していきたい。